

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室
			担当職員 山内
日 時	平成28年9月16日(金曜日)	開 議	午前10時00分
		閉 議	午後 0時00分
出席委員	石野 ○山本 三上 奥野 田中 竹田 木曾 堤		
執行機関 出席者	木村企画管理部長、浦財政課長、 田中生涯学習部長、伊豆田市民力推進課長、三宅スポーツ推進課長、 大西総務部長、石田総務課長、森川自治防災課長、林税務課長、谷税務課担当課長、 竹村総務課副課長、山内自治防災課副課長、松野総務課情報化推進係長、 伊津自治防災課主幹、吉田自治防災課消防係長、 玉記会計管理室長、小栗財産管理課長、山口財産管理課管財係長、 山本教育部長、白波瀬教育部次長、吉村教育総務課長、河原社会教育課長、 大西社会教育課担当課長、内藤図書館長、亀井社会教育課副課長、 藤村市長公室長、垣見秘書広報課長、小林秘書広報課広報広聴係長		
事務局	門事務局長、山内事務局次長		
傍聴	可	市民 0名	報道関係者 0名
			議員 1名(小松)

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

2 事務局日程説明

10:05

3 議案審査

10:05～

【企画管理部】

(1)第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)

(企画管理部 入室)

企画管理部長 あいさつ

財政課長 説明

質疑

<木曾委員>

この段階での、財政調整基金の残高は。

<財政課長>

現在の財政調整基金の残高は、24億4300万円である。

この数字に今回の積立金2億1000万円を加え、平成28年度の予算に計上している3億5000万円の基金取り崩し額を減じて、平成28年度末の残高見込みは、23億300万円である。

<企画管理部長>

今申し上げた数値について、確認させていただきたい。

(確 認)

< 財政課長 >

先ほど申し上げた数値を訂正させていただきたい。

先ほど申し上げた数値は主要 3 基金の数値であり、財政調整基金については、現在高が 2 2 億 1 6 0 0 万円、積立金 2 億 1 0 0 0 万円、当初予算に計上している取り崩し額 3 億 5 0 0 0 万円で、差し引きして、平成 2 8 年度末の見込み額は 2 0 億 7 6 0 0 万円となる。

(質疑終了)

1 0 : 0 9

(企画管理部 退室)

1 0 : 1 1 ~

【生涯学習部】

(1) 第 1 号議案 平成 2 8 年度亀岡市一般会計補正予算 (第 2 号)

(生涯学習部 入室)

生涯学習部長

あいさつ

スポーツ推進課長

説明

質疑

< 木曾委員 >

一時的に市から補助金を出して、その後、助成金をもらうということか。それとも、すでに助成金があたっているということか。

< スポーツ推進課長 >

toto の助成金はすでに交付決定をいただいているが、助成金が入ってくるのは実績報告後となる。実行委員会には現金がないので、先に実行委員会に市の補助金を出しておいて、toto の助成金は、市の方に後から入ることになる。

< 木曾委員 >

市の補助金、toto の助成金について、お金の流れを説明願う。

< 生涯学習部長 >

当初予算では、すでに市からの補助金 3 0 0 万円を計上済みである。

toto の助成金については、交付額が確定していなかったが、今回、確定したので歳入に計上させていただき、その分を市から実行委員会に交付することになる。

< 木曾委員 >

臨時職員の人数、単価等を説明願う。

< スポーツ推進課長 >

臨時職員は 1 名で、市のアルバイト賃金の 1 日の単価 6 1 0 0 円の 6 ヶ月分、1 2 1 日分で積算している。

< 田中委員 >

臨時職員は実行委員会への派遣ではなく、スポーツ推進課で仕事をしてもらうということによいか。

< スポーツ推進課長 >

そのとおりである。

< 石野委員長 >

関連して、ハーフマラソンの締め切りが迫ってきていると思うが、定員に対して申

込みの状況はどうか。

<生涯学習部長>

今日の朝の状況だが、ハーフマラソンは、3000名の定員に対して2914名の申し込みがある。5kmについては267名、3kmについては230名、1.5kmについては156名、合計で3567名となっている。

ハーフマラソンについては、今回、定員を2000名から3000名に増やしているが、締め切りまでもう少し期間があるので、その目標は達成するものと思っている。
(質疑終了)

10:20

(生涯学習部 退室)

10:22~

【総務部】

(1)第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)

(総務部 入室)

総務部長	あいさつ
各課長	説明

質疑

<木曾委員>

今現在、亀岡市において、マイナンバーカードを作成されている人数は把握されているか。

<総務課長>

カードに関しては市民課の所管となるので、当課では把握していない。

<堤委員>

つつじ分団が表彰調査を受けていただくということだが、報償費の金額が少ないように思うが、例年並みの金額か。

<自治防災課主幹>

今回、予算計上しているのは表彰旗の作成経費となっている。

<堤委員>

表彰旗の作成経費以外は、報償費に含まれていないということでよいか。

<自治防災課主幹>

そのとおりである。

<田中委員>

電算管理経費の関係で、4500万円余りの経費が使われる予定であるが、これでセキュリティは万全か。

<総務課長>

今の時点では最善と考えている。

<田中委員>

市税賦課事務経費で、申告時にケーブルを引いてネットワーク化することだが、これは単年度だけのことか、以後も使えるのか。

<税務課担当課長>

一度設定すると、以後は、毎年市民ホールで実施する申告相談会で活用できる配線

となっている。
(質疑終了)

10:36

(2)第7号議案 亀岡市議会議員及び亀岡市長の選挙における選挙運動用自動車の
使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

総務課長 説明

質疑
なし

10:38

(総務部 退室)

10:40～

【会計管理室】

(1)第6号議案 平成28年度亀岡市神前財産区特別会計補正予算(第1号)

(会計管理室 入室)

会計管理室長 あいさつ
財産管理課長 説明

質疑

<田中委員>

神前財産区の基金残高は。

<財産管理課長>

平成28年5月31日現在で、4413万6186円である。

<堤委員>

神前財産区基金の大部分は、野鳥の森などの借地料がその財源となっているのか。

<財産管理課長>

そのとおりである。

国際広場球技場と野鳥の森の賃借料は、年間約380万円となっている。

<木曾委員>

神前区の全戸に有線放送が設置されているのか。今回はそれに対する改修なのか。

<財産管理課長>

神前区の8割が有線放送に入っておられると聞いている。

今回、有線放送が聞き取りにくいという問題があって、新たに無線システムを整備
されることとなり、事業所も含めて全戸整備するということで聞いている。

(質疑終了)

10:45

(会計管理室 退室)

10:47～

【教育部】

(1)第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)

(教育部 入室)

教育部長	あいさつ
各課長	説明

質疑

<木曾委員>

当初予算において必要額を計上しなかったことによる差額を、今回、補正するものなのか。それとも、突発的な修繕への対応のための補正なのか。

<教育総務課長>

当初予算において、直近3ケ年の決算ベースをもとに予算要求を行っているが、当初予算では満額を計上できていなかった。今回の補正予算には、当初から見込んでいたものもあるし、突発的なものへの対応も含んでいる。

<木曾委員>

学校の修繕費については、突発的なものへの対応は仕方ないが、必要なものは当初予算に計上しておくべきである。財源が厳しいという状況はわかるが、子ども達の教育環境を守るためには、当初から予算計上すべきと考えるので、その覚悟を持って取り組んでいただきたい。

青少年健全育成経費の保津川下りの分について、対象者は何名で、実際の参加者は何名を見込んでいるのか。

<社会教育課長>

昨年度は中学3年生の930名の対象者のうち、約30%の238名が参加いただいた。申込みが1月に入ってからとなり、学校現場もばたばたとした時期でもあったことから、きっちりと周知ができなかったことにより30%という率になった。

今年度は、1日10便の40便、定員が25名で1000名が乗船していただけることとして、随分分も含めて、全員が申し込まれても対応できる予算措置となっている。

早い目に募集を行ったり、高校の説明会の日程を外したりすることによって、多くの参加が得られるように努めている。

<木曾委員>

一般図書館経費で、図書の購入予定はどうなっているか。

<図書館長>

図書の購入予定については、1冊の単価が約1500円から1600円であるので、10万円の予算で70冊程度となる。

<堤委員>

学校の修繕費については、当初予算で要求しているが、査定の中で予算をみてもらえなかったということだが、そのあたりの事情はどうであったのか。

<教育部長>

予算要求にあたっては、毎年10月に小・中学校に出向き、必要な修繕・備品等を聞かせていただき、総体としてまとめると例年の予算をはるかに上回る額となる。

そうした中から、例年、この程度に抑えてほしいという財政課の意向も受けているところである。特に、平成28年度は補助金について一定の割落としがかったのと同様に、修繕費についても圧縮がかかり、例年にも増して厳しい査定状況となってい

る。そのため、今年度の補正予算は、例年を上回る大きな額となっている。

当初予算で一定の額を計上し、不測の事態により発生した分については補正予算で対応するのが筋であるので、この点については、財政課と十分協議をしていきたい。

<田中委員>

財政課の査定で削られたということだが、担当部局は違っても同じ亀岡市の中のことであるので、この場所では削られたということは言わない方がよい。内部的に財政課と教育委員会がどのようにやりとりするかの問題である。

今回、補正予算で計上されているように、必要な経費はどうしてもいるのであり、ゆずれない部分があると思う。

<奥野委員>

学校の備品・消耗品の予算は、この補正予算の中に含まれているのか。

<教育総務課長>

今、審議いただいているのは学校施設管理経費であり、学校の消耗品・備品関係については、学校運営経費という別の事業費目となる。

<田中委員>

補正予算とは直接関係はないが、各学校で不審者対策として、校門の所でプレハブ等を建てて協力員の方に見張りをしていただいているが、その建物自体は、本来どこが建てるものなのか。

<教育総務課長>

各小中学校の正門には、監視員用の建屋を教育委員会として整備している。

<田中委員>

穂田野小学校は建て替えられたようだが。

<教育総務課長>

青少年育成協議会から寄附をいただいた。

もともと監視員の方が常駐いただいている建物はあったし、今もあるが、そこには1人しか入っていただけないスペースなので、安全対策に関わっていただいている地域の見守りの方や、青少協の方がそこで休んでいただくこともできないということで、少し大きめの小屋を寄附いただいたということである。

<木曾委員>

その建物の扱いはどうなっているか。

<教育総務課長>

事務的な処理としては、寄附の申出書が学校に送られてきて、その報告書を教育委員会として預かっている。

<堤委員>

その建物にはエアコンは付いているのか。

<教育総務課長>

付いている。

<三上委員>

学校運営経費は、今回、補正予算に上がってきていないので、まだ大丈夫ということではどうか。補正予算なしで内部の努力でいけるのか。

<教育部長>

現状は厳しいということは各学校から聞いている。

当面は当初配分の中で執行をお願いしているが、状況によっては補正協議ということも出てくるかもしれない。

<三上委員>

そのことは学校にも伝えていただいて、何が何でも当初配分の中でいかなければならないということで、教育の質が落ちたり無理があったりすることのないように、学校との連携をよろしく願う。(要望)
(質疑終了)

11:10

(2)第8号議案 亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する
条例の一部を改正する条例の制定について

社会教育課長 説明

質疑

<堤委員>

入会が増えた場合、場所の確保等の検討はされているか。

<社会教育課長>

6年生までの受け入れが拡大できるのは、やはり小規模校の可能性が高いと認識しているが、場所や人材の確保に努め、保育がきっちりとできる態勢が確認できた所から、順次、拡大していきたい。

<田中委員>

条例改正をされたら指導員を増やさざるを得ない所もでてくるように思うが、十分に覚悟して対応していただきたい。(要望)

<社会教育課長>

広報については、今年すでに3回行っている。昨日9月15日の「キラリ亀岡おしらせ」にも載せているが、支援員の募集については随時行っている状況である。

<山本副委員長>

管理運営に支障が生じないと認められる放課後児童会への入会については、規則で定めるとのことだが、それは現在の支援員の人数を増やさなかったり、一人当たりの面積を増やさなくても、十分に余裕がある児童会において、拡大について規則で定めるとのことによいか。

<社会教育課長>

そのとおりである。

5年まで4年までということで考えていきたい。

ただ、場所については、1.65㎡という基準にはこだわらないようにしていきたい。

<山本副委員長>

時間の延長については検討するということであったが、今回の条例改正の中には入っていないのか。

<社会教育課長>

今回の条例改正には時間の延長は入っていないが、引き続き検討していきたい。

<奥野委員>

支援員の配置基準はあるのか。

<社会教育課長>

一定の基準を設けており、児童20人に対して概ね1人の配置をしている。

<奥野委員>

支援員については、その様なきまり、枠というのがあるのか。

< 社会教育課長 >

40人のクラスでは2人の支援員を配置しているので、20人に1人という計算になる。

(質疑終了)

11 : 15

(2) 第9号議案 亀岡市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について

社会教育課長 説明

質疑

< 田中委員 >

専門委員を設置できるようになるが、条例が改正されたら専門委員を置かれるのか。その目途はたっているのか。

< 社会教育課長 >

具体的な候補は持ってないが、委員会の中で設置ができることの規定整備を行うものである。

(質疑終了)

11 : 20

(教育部 退室)

(休 憩)

11 : 20 ~ 11 : 30

4 討論 ~ 採決

(委員間討議なし)

討論

< 田中委員 >

教育部の補正予算の説明は、もっとしっかりされるよう要望しておく。

第1号議案の一般会計補正予算の関係だが、全体の中では反対の項目もあるが、所管分については賛成とする。

採決

< 石野委員長 >

賛成者は挙手願う。

第1号議案 (一般会計補正予算)

挙手全員

可決

第6号議案 (神前財産区特別会計補正予算)

挙手全員

可決

第7号議案（選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正）

挙手全員 可決

第8号議案（放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部改正）

挙手全員 可決

第9号議案（文化財保護条例の一部改正）

挙手全員 可決

指摘要望事項

<石野委員長>

指摘要望事項はあるか。

<木曾委員>

当初予算で当然に計上されなければならない予算が、補正予算で計上され、その補正額も大きくなっている。

当初予算に当然に計上されるべきものについては、きっちり計上されるよう指摘要望していただきたい。

5 行政報告

(1)ホームページのリニューアルについて(市長公室)

市長公室長

あいさつ

秘書広報課長、広報広聴係長

説明

質疑

<木曾委員>

スマートホン等で議会のインターネット中継等が見れないという声をこれまでよく聞いたが、ホームページのリニューアルによってそれは解消されるのか。

<秘書広報課広報広聴係長>

スマートホンから市のホームページを見ようとした時に、安全上問題があるのではないかというメッセージが表示されていたが、その対策として、セキュリティ上のソフトの更新をかけたので、現段階ですべて解消されたと思っている。

<田中委員>

ホームページとは直接関係ないが、ふるさと力向上寄附金の高島屋の返礼品の中に京丹波町のお米が出ているが、なぜ亀岡のお米を出さないのか。

<市長公室長>

京都・丹波のお米ということで業者の募集をしたところ、手を挙げていただいた一つの業者ということで、よろしくお願いします。

<三上委員>

スマートホンから議会のインターネット中継を見ようとする時に、ソフトを入れなければならないし、入れようとしてもなかなか入らないということであったように思うが、それは解決したということでしょうか。

<秘書広報課広報広聴係長>

現ホームページからスマートホンでインターネット中継を見るためには、スマートホンの規格にもよるが、ソフトを入れないと見ることができない。

新しいホームページでは、「フラッシュ」という規格を一切使わないこととしており、これによって、どのような状況でも見られるよう、環境の構築を図りたいと考えている。

(質疑終了)

11 : 45

6 陳情・要望について

(1)平成29年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額計上について

聞き置く程度とする。

7 その他

・議会だよりの掲載事項について

第1号議案 一般会計補正予算

- ・学校施設管理経費の増額補正（指摘要望事項を含む）
- ・生涯スポーツ振興経費の増額補正

第8号議案 放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部改正
以上の掲載事項で決定。

・わがまちトーク（自治会版）の対応について

各会場の出席者を選出。（別紙のとおり）

・次回の日程について

<石野委員長>

今回は、9月29日（木）午前10時から、委員長報告の確認を願う。

他になければ、これで総務文教常任委員会を閉議する。

12 : 00 閉議